

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民農園に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	6	1	3	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	飯田 純一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度の鎌ヶ谷市市民農園貸付事業実施要綱改正後の未利用区画数を検証する。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	未利用区画の解消に向けた取り組みを検討する。
②①に基づく取り組み結果	環境整備等に取り組み、利用者の利便性の向上に取り組んだ。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	野菜栽培を愛好する市民	意図(対象をどうするのか)	農業理解の契機とする。
②事務事業の概要	市街化区域内にある農地を借り受け、市民に農園の貸付を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	都市化が進む中で、農業と市民が触れ合う貴重な機会として需要があり、今後も継続して利用希望があると予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	171区画中、151区画の農園貸付を行い、農業理解の契機とした。					
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i 市民農園の利用区画数	140	151	151	区画	業務取得
	ii 巡回時の農業士への相談件数	8	14	27	件	業務取得
iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)	3,483	3,292	金額(千円)	内容	2,807	
国支出金(千円)			2,720	市民農園用地借上料		
県支出金(千円)			534	市民農園柵改修		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	3,483	3,292			2,807	

IV 評価・検討

①課題	未利用区画を無くすための方策を検討する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市民が野菜等の栽培を通じて自然にふれあうとともに、農業に対する理解を深める場の提供となるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越
		H27⇒28繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成29年度への繰越額(単位:千円)				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	果樹剪定枝等堆肥化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	3	○
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	飯田 純一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	農業者のみならず、市民に対しても堆肥の販売を実施する。また、剪定枝の回収量の増加に伴い、堆肥化以外の手法を検討する。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	堆肥化以外の手法として、バイオマスへの活用を推進していく。
②①に基づく取り組み結果	市民向けの堆肥販売を実施した。また、新たな手法としてバイオマス発電への活用について検討を始めた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	果樹剪定枝等	意図(対象をどうするのか)	堆肥化する。
②事務事業の概要	果樹剪定枝等の回収を行い、剪定枝を原料とした堆肥を生産する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成26年度から「鎌ヶ谷市果樹剪定枝等リサイクル事業推進協議会」が当該事業を引き継ぎ、堆肥の販売に向けた取り組みを行っている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	平成27年度回収分の約244tの果樹剪定枝について、破碎を行った。また、平成28年度末に回収した剪定枝の一部を試験的にバイオマス発電用として利用した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i 梨剪定枝回収量		351	679	679	m3	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	6,019	6,071	金額(千円)		内容	8,924	
国支出金(千円)			堆肥化事業用地借上料		1,553		
県支出金(千円)			リサイクル事業負担金		4,518		
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	6,019	6,071				8,924	

IV 評価・検討

①課題	近年、果樹剪定枝の排出量の増加が顕著化している。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	今後も引き続き精査・検証等を行い、剪定枝等リサイクル事業を推進する必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	借地及び負担金	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	借地料及び負担金を支出	6,087	6,087	当初	6,087	6,071	H27からの繰越	
				補正			現年分	6,071
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円) 0						

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	手賀排水機場修繕事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	5	○
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	飯田 純一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き、本市の負担割合に応じて事業費の負担金を支払う。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	平成28年度で完了のため、なし。
②①に基づく取り組み結果	平成28年度に、事業が完了した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	県営手賀沼土地改良施設	意図(対象をどうするのか)	施設の延命措置
②事務事業の概要	県営手賀沼土地改良施設の修繕に係る負担金を支払う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	県予算の減額や天候等の理由により事業に遅れが生じていたが、平成28年度中にすべての事業が完了した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	手賀排水機場の修繕及び整備を行った。						
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠	
	i	工事施工件数	5	2	1	件	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	2,120	786	金額(千円)	内容	0		
国支出金(千円)			786	ストックマネジメント負担金			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	2,120	786					

IV 評価・検討

①課題	平成28年度で完了のため、なし。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	当該事業は、平成28年度をもって終了した。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	負担金	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	負担金を支出	887	887	当初	887	786	H27からの繰越	
				補正			現年分	786
③達成状況	完了			流用・充当				
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円) 0						

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	農業委員会事務局の運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	6	1	1	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業委員会事務			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	佐山 佳明			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	法改正について農業委員と認識を共有し、併せて他の自治体等と情報交換を行い業務を円滑に実施する。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	7月に農業委員・推進委員が新体制となることから、委員会業務についての認識を共有し、業務を円滑に実施する。
②①に基づく取り組み結果	平成28年度までの目標を定めた活動結果・検証評価の実施		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	農地法等に基づく業務を円滑に運営するための活動	意図(対象をどうするのか)	農業委員会事務の点検及び検証の実施
②事務事業の概要	①農地法等の法律によりその権限に属された事務 ②農地等の効率的な利用促進事務、許可申請・各種証明に伴う調査並びに審査 ③現地調査・総会等			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	都市化に伴う農地の宅地化等により営農環境が悪化し、農業経営が厳しい状況の中、農業従事者の高齢化及び担い手不足により農地の遊休化が懸念されている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	食糧自給率の向上のための優良農地の確保と有効利用及び担い手の育成確保と農用地利用集積の斡旋を行い、一団化した農地への誘導を図り、遊休農地を削減した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	農業委員活動日数	681	561	638	日	活動記録簿
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	10721	10392	金額(千円)	内容	10919		
	国支出金(千円)						
	県支出金(千円)	1329	1371			1216	
	市債その他(千円)	128	127			96	
	一般財源(千円)	9264	8894			9607	

IV 評価・検討

①課題	法改正で委員会の業務内容が変更となったため、委員会業務について委員と共通の認識を持つことが必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	より効果的な農業委員会業務の運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越	
		H27⇒28繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	流用・充当					
	平成29年度への繰越額(単位:千円)					